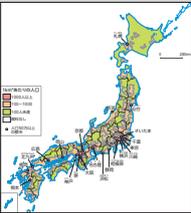
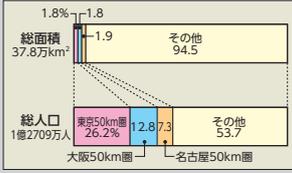
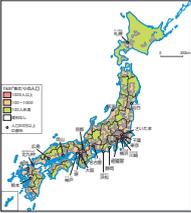
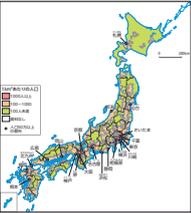


デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.154-155 日本の人口
2. 目標 (1) 日本の人口分布の特色と、人口が集中する地域と少ない地域の課題を理解できる。
(2) 増え続けてきた日本の人口が減少に転じ、少子高齢化が進んでいる理由を考察できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・日本の人口は三大都市圏に集中していることを理解し、人口減少により、地域社会の維持が困難になっている地域が増えていることを理解している。
思考・判断・表現	・子育てと仕事の両立が難しいことを背景に、出生率が低下する一方、食生活の改善や医療技術の進歩などにより高齢化が進んでいることを考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)								
導入	<p>1. 「日本の人口分布」の図を題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 人口密度が高くなっている地域の要因を予想し、学習課題への見通しを持つ。</p>	 <p>p.154 2</p> <p>人口密度が高い地域と、低い地域をそれぞれ挙げよう。</p> <p>人口密度が高い地域の要因を予想してみよう。</p>	<p>○ 「日本の人口分布」の図を題材にし、大まかな人口分布の特色をとらえさせながら、本時への導入を図る。</p> <p>○ 人口密度が高くなっている要因を予想させる。</p> <p>○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。</p>								
<p>学習課題：日本の人口分布や人口構成は、どのように変化してきたのだろうか。</p>											
展開	<p>3. 日本の人口は三大都市圏に集中していることを理解し、人口が集中している地域と人口が少ない地域の課題を考える。</p> <p>(1) 三大都市圏と人口100万以上の都市</p> <p>(2) 人口集中地域と人口が少ない地域の課題</p>	 <p>p.154 1</p>  <p>p.154 2</p> <p>二つの資料から分かることを挙げてみよう。</p> <table border="1" data-bbox="443 1653 1066 1776"> <thead> <tr> <th>東京大都市圏</th> <th>京阪神大都市圏</th> <th>名古屋大都市圏</th> <th>その他の地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京、横浜、川崎、さいたま</td> <td>大阪、京都、神戸</td> <td>名古屋</td> <td>札幌、仙台、広島、福岡</td> </tr> </tbody> </table> <p>人口が100万以上の都市を、三大都市圏とその他の地域に分けてみよう。</p>  <p>p.154 2</p>  <p>p.154 3</p>	東京大都市圏	京阪神大都市圏	名古屋大都市圏	その他の地域	東京、横浜、川崎、さいたま	大阪、京都、神戸	名古屋	札幌、仙台、広島、福岡	<p>○ 日本の人口分布の特色を読み取らせる。</p> <p>◆ 日本は、面積が国土の5.5%ほどの三大都市圏内に、人口のおよそ46%が集中していることに気付かせる。</p> <p>○ 学習プリントを活用し、人口100万以上の都市を、三大都市圏とその他の地域に分けてまとめさせる。</p> <p>◆ 人口100万以上の都市は、三大都市圏に集中していることに気付かせる。</p> <p>○ 学習プリントを活用し、人口が集中する地域と人口が少ない地域の課題をまとめさせる。</p>
東京大都市圏	京阪神大都市圏	名古屋大都市圏	その他の地域								
東京、横浜、川崎、さいたま	大阪、京都、神戸	名古屋	札幌、仙台、広島、福岡								

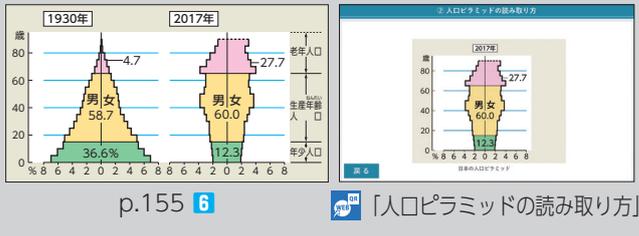
展
開
整
理

4. 日本の人口構成が大きく変化してきたことを理解する。

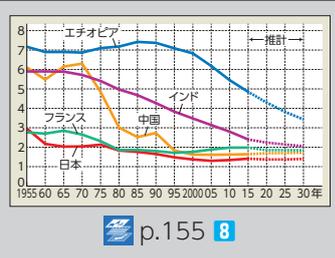
- (1) 日本の人口ピラミッドの特色
- (2) 人口構成の変化

人口が集中する地域	(例) 住宅の不足、通勤・通学時の混雑、交通渋滞、ごみの処理問題 など
人口が少ない地域	(例) 医療機関の不足、学校や商店の減少、地域防災の人手不足 など

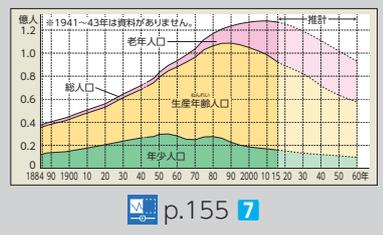
人口が集中する地域と少ない地域の課題をそれぞれ挙げてみよう。



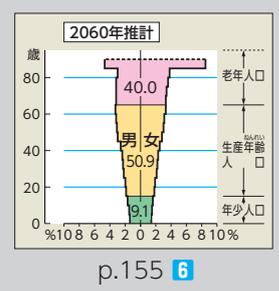
日本の人口構成の変化の特色を説明してみよう。



グラフから読み取れることを挙げてみよう。



グラフから読み取れることを挙げてみよう。



2060年推計の人口構成で予想される課題を挙げてみよう。

6. 本時のまとめをする。

老年人口の割合が高く、高齢化が進んでいるのはどのような地域なのか、図2と3を比較しながら説明しよう。

7. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ 人口が集中する地域では、住宅不足や交通渋滞、ごみの処理問題などを抱える一方、人口が少ない地域では、高齢化や医療機関の不足、学校や商店の不足など、地域社会の維持が困難になっていることを理解させる。

○ 人口ピラミッドの基本的な読み取り方を確認させる。

◆ 日本の人口構成が「富士山型」から「つぼ型」に移行し、少子高齢化が進んでいることに気付かせる。

○ 主な国の合計特殊出生率の変化を読み取らせる。

◆ 発展途上国は高く、先進国は低いことと、日本は1980年ごろから2を下回っていることに気付かせる。

○ 日本の人口の推移を読み取らせる。

◆ 日本の人口が減少に転じたことに気付かせ、今後も人口の減少が予想されていることを理解させる。

○ 少子高齢社会の課題を考えさせる。

◆ 労働力の不足、年金や医療費の増加などの課題があることを理解させる。

◆ 日本の人口構成が変化してきた背景には、出生率の低下や食生活の改善、医療技術の進歩などの要因があったことを理解させる。

◆ 老年人口が高く、高齢化が進んでいる地域について、人口密度が少なく、三大都市圏から離れていることに着目して説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。